

令和7年10月14日

北九州市産業経済局

公益財団法人北九州産業学術推進機構＜FAIS＞

報道機関各位

松本工業株式会社が北九州市内の企業で初めて 「日本品質奨励賞TQM奨励賞」を受賞しました

一般財団法人日本科学技術連盟が令和7年9月30日に発表した「2025年度（令和7年度）日本品質奨励賞TQM奨励賞（※詳細については別紙参考資料1参照）」に、北九州市に本社を置き、パーツネット北九州の会員企業でもある「松本工業株式会社」が受賞しました。

このたびの受賞は、北九州市内の企業では初、また九州地域の2次サプライヤー（自動車部品関連企業）でも初の受賞となり、本市のものづくり企業の品質経営が全国レベルで高く評価されたものです。

また、11月12日（水）には、東京都の経団連会館において授賞式が開催されます。

つきましては、松本工業のTQM活動実践の取組について、取材くださいますようお願いいたします。

【企業概要】

企業名：松本工業株式会社(<https://www.matsumoto-kk.co.jp/company/>)

代 表 者 名：代表取締役社長 館下 繁仁

本社所在地：北九州市小倉北区三萩野一丁目2-5

TEL：0979-82-1171（豊前工場）

主 な 製 品：ヘッドレスト、アームレスト、シートフレーム他



【問合せ先（パーツネット北九州事務局）】

公益財団法人北九州産業学術推進機構＜FAIS＞自動車産業支援センター

担当：畑間（部長）、片山（課長）、中村（参与） 電話 093-695-3685

産業経済局未来産業推進課

担当：岩本（課長）、早田（係長） 電話 093-582-2905

1 今回の選考理由（2025年9月30日 一般財団法人日本科学技術連盟プレスリリースより引用）

松本工業株式会社は、自動車用シートの骨格部品であるシートフレーム、ヘッドレストなどを生産している。2022年に企業体質の大幅な強化を図るため、TQMの推進強化を宣言した。TQMの特徴は、会社の企業理念をまとめた「松本工業の心得帳」の社員への配付による 価値観の共有、ビジョン 2030 の実現に向けた経営課題を方針管理の仕組みにより全社に展開、標準作業書の質のレベルアップに拘った日常管理の充実などである。結果として、厳しい経営環境の中、会社方針の達成度が向上し、新商品や新工法の実用化にも目処がついた。また多くの KPI も改善傾向にある。今後もTQMを活用して組織能力を高め、経営課題の解決を図ることで、ますますの成長が期待できる。

2 TQMについて

TQMとは「Total Quality Management」の略で、日本語では「総合的品質管理」や「全社的品質マネジメント」と訳される。これは、企業活動において品質の維持・向上を図るための考え方や取り組み方を体系化した経営管理手法であり、TQMは、製品やサービスの品質だけでなく、組織全体のあらゆる業務や経営の質を向上させることを目指している。具体には、方針管理（ビジョン、経営戦略の策定等）、日常管理（作業の標準化、現場改善等）、QC サークル（小集団活動）など、階層ごとに体系立てて管理。TQMの導入により、企業目標の達成、企業価値の向上、生産性の向上、技術力の向上、コスト削減、従業員のモチベーション向上、顧客満足度の向上などが期待できる。

3 一般財団法人日本科学技術連盟について

戦後の混乱の中、日本の復旧・復興・発展の要となる人材の養成と科学技術の振興をめざして産学で設立され、品質管理、QC サークル普及、科学技術の調査・研究、また、石川馨賞、デミング賞の授与などを行い日本の産業界を支えた。昭和 37 年に科学技術庁所管の財団法人となる。

本法人は、科学技術ならびに経営管理技術の振興に必要な諸事業を総合的に推進し、人材の育成を図り、もって産業と学術・文化の発展に寄与することを目的とする。※日本科学技術連盟HP <https://www.juse.or.jp/aboutus/index.html>

4 日本品質奨励賞TQM奨励賞について

一般財団法人日本科学技術連盟創立50周年を記念して、2000年に新たな品質賞として創設されたもので「TQM 奨励賞」と「品質革新賞」で構成。

TQM奨励賞は、品質の改善が着実に進展しており、さらにその継続と活動範囲の拡大が図られれば、企業の業績が向上し、最上位のデミング賞の受賞のレベルに至ると思われる組織の品質マネジメントの取り組みを積極的に表彰し、今後の一層の発展を促す動機を提供することを目的としている。昨年まで53団体が受賞。今年度の受賞は松本工業1社。

※今年度受賞企業 <https://www.juse.or.jp/file/information/1404.pdf>

※過去受賞企業 <https://www.juse.or.jp/jqa/winner/>

パーツネット北九州

Parts Net Kitakyushu

北部九州には4つの自動車メーカーが立地しており、年間154万台の自動車生産能力を持つ、国内有数の自動車産業拠点となっています。近年は部品調達の現地化に加え、研究開発体制の強化が進みつつあり、北部九州の自動車産業の更なる成長が期待されています。

こうした状況のなか、パーツネット北九州では、地元企業と行政が一体となって、次世代につながる自動車産業の集積に向けた取組みを展開しています。

About

パーツネット北九州
について

目的

北九州地域の産業振興のため、地域の力を結集して自動車部品関連企業の事業拡大及び新規参入を促進するとともに、他地域とも連携し北部九州での部品の現地調達率の向上(Buy九州運動)を目指します。

設立日

2005年11月7日

参加企業

110社(2025年7月1日現在)

会費

10,000円/年

事務局

北九州市産業経済局 未来産業推進課
(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)
北九州商工会議所 専門相談センター



セミナー・講演会

自動車産業の最新動向や先端技術について、自動車メーカーや専門家を講師に迎え、セミナー・講演会を開催しています。



企業視察

生産性向上やEV化等に向けた先進的な取組みを学ぶため、他地域の1次サプライヤー等を訪問する企業視察を実施しています。



展示会・商談会

大都市圏で開催される自動車関連の展示会に出展し、会員企業の製品・技術をPRしています。また、販路拡大に向けて商談会等も開催します。

人材育成・企業支援

若手・中堅技術者育成、リーダー・幹部育成、専門技術者育成などの指導育成事業や、TQM出前講座、現場派遣事業などを実施しています。

Activities

活動について

Contact

お問い合わせ



公益財団法人 フェイス
北九州産業学術推進機構【FAIS】 自動車産業支援センター

TEL 093-695-3685 FAX 093-695-3686

E-mail car@ksrp.or.jp

パーツネット北九州ホームページ <https://parts-net-kitakyushu.jp/>

